

H28年度オープンキャンパス：生活環境マネジメント学科・体験授業一覧

実施日	内 容
5/29 (日) <新座>	<p>●「人口減少時代、快適な街とは？——コンパクトシティ」(担当：大野)</p> <p>日本の人口は毎年減少しています。今までの人口増加時代の「増築」とは異なり、「減築」のまちづくりが必要です。足し算のまちづくりから、引き算のまちづくりへの転換です。小さくまとまって、災害に強く、環境にはやさしく、維持管理しやすく、高齢者・障害者にも住みよい快適な住生活空間が求められています。これまでの「壊して、さらに大きく造り変える」まちづくりから、今までに整備された建物、道路などの既にある「資産を有効に活用する」、新たな視点によるまちづくりを考えます。</p>
6/19 (日) <文京>	<p>●「スウェーデンの女性の住まい」(担当：村田)</p> <p>森と湖の国、北欧のスウェーデンに住む2人の女性の住まいを紹介します。20代会社員の住まいは元給水塔、50代陶芸家の住まいは元小学校校舎です。ヨーロッパでは、使われなくなった古い建物を壊すのではなく、リフォームして使い続ける例があります。体験授業では、資源を有効活用し、環境を壊すことなく豊かな生活を送る北欧の女性の住まいをスライドで紹介し、インテリアにも注目してほしいと思います。</p>
7/17 (日) <文京>	<p>●「それでも無添加食品を選びますか？」(担当：石渡)</p> <p>食品添加物を含まない「無添加食品」ならば安心と思いませんか？ 食品添加物は日常、口にする多くの加工食品に使用されているため、できる限り安全なものにしなければなりません。なぜ様々な食品に添加物が使われているのか、「無添加」は本当に安全で安心なのか、この授業では食品添加物の必要性について考えていきます。</p> <p>●「持続可能な発展とマネジメント」(担当：宮崎)</p> <p>地球温暖化、資源枯渇、生物多様性の喪失など地球規模の環境問題が深刻化しています。一方で開発途上国における貧困問題は依然として未解決であり、経済発展が必要です。このため、国連が中心となって環境と経済とが両立する「持続可能な発展」を目標とし、政府だけでなく企業が積極的にこれに貢献することが求められています。本授業では、持続可能な発展に貢献する新しい企業マネジメントの考え方とその先進事例を紹介します。</p>
7/24 (日) <新座>	<p>●「ファッション誌スタイルをリユースアイテムで！」vol 1～『vivi』『non-no』『Nylon』スタイル研究1 (担当：横井)</p> <p>新しい服を買う前に、一度タンスの中を棚卸してみましょう。友人や母親にも声をかけ、タンスに眠った服を再発見。最先端のファッション誌スタイルをお手本に知恵を働かせてみましょう。学生が考えた環境にもお財布にも優しいリユース&リメイクファッションショーを、お楽しみください。</p> <p style="text-align: center;">学生による「リユース&リメイク・ファッションショー」を新座キャンパス KMH で開催！！</p>
7/31 (日) <文京>	<p>●「地球温暖化のマネジメント」(担当：宮崎)</p> <p>人々の経済活動から排出されるCO₂などが原因となって地球の温暖化が進んでいます。温暖化によって人々の生活に深刻な影響が出ないよう、気候変動枠組条約に基づき世界各国が協力して対策を講じることが求められています。本授業では、2015年にパリで開催された気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)の結果を基に、これからの世界の地球温暖化対策のあり方を考えます。</p> <p>●「六本木ヒルズとミッドタウンの緑と水」(担当：村田)</p> <p>六本木ヒルズや東京ミッドタウンに行ったことはありますか？ どちらも六本木の大型再開発地域です。都心の再開発では、並木道や植え込み、花壇や芝生、池や流れなど、緑や水を用いた環境整備が成功の鍵を握っています。体験授業では、六本木ヒルズのケヤキ並木や、東京ミッドタウンの広い芝生広場などをスライドで紹介し、緑と水の環境整備の効果を解説します。私の住む駅前の再開発はどうだろう？と、帰り道に考えてみましょう。</p>
8/7 (日) <文京>	<p>●「ファッション誌スタイルをリユースアイテムで！」vol 2～『vivi』『non-no』『Nylon』スタイル研究2 (担当：横井)</p> <p>今年らしいアイテムを1点手に入れたら、お気に入りのファッション誌をお手本に、何年も前に買った服をプラスして、着まわしレッスンをしてみましょう。世界でいちばん貧しい大統領と呼ばれている、前ウルグアイ大統領のホセ・ムヒカ氏の「足を知る」というスピーチの意味を感じることができるに違いありません。</p> <p style="text-align: center;">学生による「リユース&リメイク・ファッションショー」を文京キャンパス・フロッサムホールで開催！！</p> <p>●「食べる量を減らしても太るワケ」(担当：石渡)</p> <p>「ダイエット」といえば、まずは食事の量を減らすことを考えますよね。実は、人間の身体は飢餓状態になると、食事から摂取したエネルギーを少しでも多く体内に取り込み蓄積しようとするため、省エネルギーの太りやすい体質に変わってしまいます。この授業では人間が生きるために必要な最小のエネルギー量である「基礎代謝」をキーワードに、健康的なダイエットについて解説します</p>
8/21 (日) <文京>	<p>●「高齢化ってなに？」(担当：赤松)</p> <p>日本では欧米よりも速いスピードで人口の高齢化が進み、超高齢社会へと突入しています。しかし高齢化とはどういうことなのか分かりますか？ 今の皆さんと高齢者は、どこが、どのように違うのでしょうか。この授業では疑似装具を使って高齢者体験をします。そして、体・精神状態・日常生活がどのように変化するのか、それに対してどのような配慮が必要なのかを考えます。</p>
10/2 (日) <新座>	<p>●「先延ばしのメカニズム—行動経済学からの考え方から学ぶ—」(担当：櫻川)</p> <p>「やろう」と決めたことを先延ばしにして後悔したことはありませんか？ 例えば、勉強、ダイエット、貯蓄・・・。経済学の中かに行動経済学とよばれる分野があり、なぜ人々がいったんはやろうと決めたことを先延ばしにしてしまうのか、というメカニズムを明らかにしています。そして、先延ばししないコツについても提案しています。あなたの明日からの行動が変わるかも。ぜひ一緒に学びましょう。</p>
11/27 (日) <文京>	<p>●「生活の中の“あたりまえ”を疑おう！」(担当：赤松)</p> <p>「あたりまえ」を疑うおもしろさに気づくこと、それが生活環境マネジメント学を学ぶ第一歩です。自分の生活を見渡して、なぜ？ どうして？と疑問に思うことはありませんか。この授業ではその一例として、日本の生活や文化の象徴ともいえる箸に着目します。さまざまな種類の箸を使いながら、一番使いやすい箸はどれか探します。そしていつも使っている箸とどう違うか考え、「あたりまえ」を見直すおもしろさを体験しましょう。</p>